



中野区議会議員●無所属

佐藤ひろこ

うさぎだより

[事務所] 〒164-0001 中野区中野 1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野 4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会

24時間福祉のまちへ!

5期目の4年間も、だれもが共に生きる街をめざして全力で取り組んできました。少子高齢化の中で次世代に負担を残さない行財政改革や、孤立する人をつくらぬ支え合いのしくみの提案に力を入れました。離職者支援総合相談窓口や障害児通学支援など全国に先駆けて実現できた事業もあります。障害者防災委員会など区民の方々と共に活動し区政を動かしてきました。区民の力を活かすのはこれからが本番です。



佐藤ひろこ4年間の質問と実現度

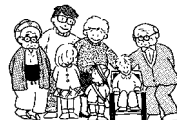
●支えあいのネットワークづくりを提案・実現

- ・孤独死の防止・孤立した人と家庭への支援を 実現予定
- ・区職員による高齢者の訪問調査を 一部実現
- ・コーディネートを担う職員の配置を 実現予定
- ・区民活動センターに支えあい担当職員の配置 実現予定
- ・すこやか福祉センターと区民活動センターの連携 実現予定

●子育て・介護の総合窓口

「すこやか福祉センター」を実現

- ・区内4ヶ所に「すこやか福祉センター」を
- ・「出張相談」できる職員体制を 実現予定
- ・障害のある子どもと親への支援を



●持続可能な区政への転換をすすめる

- ・福祉のための行財政改革を提案
- ・少子化でも支えられる施設配置や運営の見直し 実現
- ・子ども達世代のために基金の計画的積み立て 実現

●障害児・者の通学や通勤の移動支援を実現

- ・学童クラブや一時保護施設への送迎支援 実現
- ・アポロ園の通園バスにリフト付バスを導入 実現

●医療的ケアが必要な人への支援を提案

- ・他区に先駆け医療的ケアが必要な子どものアポロ園での緊急一時保護と単独通園 実現
- ・通所施設で医療的ケアが必要な人の受け入れ 実現予定
- ・介護者が疲れた時などのレスパイトを
- ・医療機関や福祉施設等と連携し検討会の設置を
- ・医療的ケアの研修会の実施を
- ・東京都教育庁へ特別支援学校永福学園の充実を要望

●安心できる子育て環境を提案

- ・妊婦健診の助成を5回から14回に増実現
- ・安心して出産できるよう緊急時の医療機関の確保を
- ・お産や育児の相談に助産師の活用を 一部実現
- ・新産婦・新生児への全戸訪問相談 実現
- ・病児保育・緊急保育の充実を 一部実現
- ・保育園や幼稚園での障害児の受け入れ支援を
- ・保育園の待機の解消を
- ・母子生活支援施設建て替えと夜間保育の実施 実現

●離職者支援の総合相談窓口を実現

- ・ホームレスに臨時の仕事とアパート入居支援 実現
- ・新型自立支援センターに住民理解を

来年度予算案から

障害者タイムケア・医療的ケアの実施 総合窓口・支えあいの拠点が実現

- * 支えあいネットワークがスタート
- * 区民活動センターオープン
- * すこやか福祉センター機能拡大
- * 区役所にワンストップ型総合窓口
- * 証明書コンビニ交付実施
- * 1・2歳児区立保育室・保育園分園開所
- * 夜間保育(トワイライトスティ)実施
- * 学童クラブ委託化で延長保育実施
- * 障害者生活介護通所施設で時間外タイムケア事業実施
- * 障害者福祉会館・かみさぎこぶし園で医療的ケア事業実施
- * 障害者就労施設に経営コンサルタント派遣補助
- * 障害者就労施設の共同受注促進事業



だれもが安心して暮らせる中野をつくる

●年をとっても安心して暮らせるように

- ・民間福祉サービスの苦情解決制度 実現
- ・住宅会社・介護事業者共同のケア付き高齢者住宅を提案
- ・要介護でも入居できる福祉住宅条例見直しを 実現予定
- ・高齢者の住み替え支援を
- ・民間賃貸住宅のバリアフリー化の誘導策を 実現予定
- ・グループホームや小規模多機能型介護施設を 一部実現
- ・高齢者会館の入浴事業の継続を 実現
- ・後期高齢者医療制度に自治体から問題点の指摘を

●障害があっても安心して暮らせるように

- ・緊急一時保護、レスパイト、自立体験プログラムを早急に
- ・日中一時支援の拡充を 一部実現
- ・要援護者の防災訓練実施を 一部実現
- ・災害時要援護者支援体制の整備を
- ・福祉避難所の充実を 一部実現
- ・多目的トイレ・多目的ベットの設置を
- ・精神障害者退院促進支援を 一部実現
- ・障害者への理解を深める職員研修 実現
- ・聴覚障害者の情報保障を(手話を使って質問)
- ・聴こえにくい人が相談しやすい耳マークの設置 実現
- ・障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」の存続 実現
- ・どの子ども共に学ぶインクルーシブな教育を
- ・学校で精神疾患の学習と教員の研修を
- ・スクールソーシャルワーカーの充実を
- ・就学指導委員会の見直しを
- ・特別支援学級宿泊学習の継続を
- ・グループホームを終の住家に



●障害者の就労支援を

- ・就労支援センターの体制強化を
- ・区役所でチャレンジ雇用を 庁内印刷委託を実現
- ・障害者雇用の拡大を 区独自の奨励金制度など実現
- ・福祉作業所に積極的に仕事の発注を 要綱が実現

●ひとりひとりの尊厳を大切に

- ・DV被害者などに定額給付金を 実現
- ・外国から来た子ども達の日本語学習支援を 通訳派遣時間数増を実現
- ・多文化共生計画の策定を
- ・多言語版の情報提供の充実を 実現
- ・生活支援相談窓口の設置を
- ・住民自治をすすめる会で人権を考える連続講座を実施



●まちづくり等の問題点を指摘

- ・再開発に区の税金投入は最小限に
- ・再開発の補助や許可は慎重に
- ・中野サンプラザ運営会社に徹底した調査を 実施
- ・税金を投入せず区役所・サンプラザ地区再整備を
- ・シティテレビの行き過ぎた営業活動に指導を

●だれもが行きかう元気な街に

- ・中野駅・駅周辺のバリアフリー化を急げ 実現予定
- ・歩道のバリアフリー化を 一部実現
- ・視覚障害者の誘導ブロック設置を連続的に 一部実現
- ・中野駅周辺整備に障害者の意見を 検討会参加で実現
- ・受動喫煙の防止・駅前喫煙所の移動を
- ・区民の力でアートによるまちづくり
- ・障害者アートを中野から発信
- ・コミュニティアートセンターを
- ・里まち連携で街を元気に



●区政を透明に区民参加を徹底的に

- ・区民参加の外部評価委員会の広報を積極的に
- ・区民が関心をもてるよう行政評価の改善を
- ・行政評価と連動させ予算編成を透明に
- ・予算編成の段階から区民と意見交換を
- ・総合評価制度導入で入札改革、高齢者・障害者雇用などを評価項目に 実現
- ・区政情報の発信に力を入れて
- ・将来負担比率など財政指標のわかりやすい公表を
- ・外郭団体と第三セクターをバランスシートで連結 実現
- ・土地の売却・購入にわかりやすい基準を
- ・公共施設マネージメント白書で施設の老朽化への対応を
- ・検討会の非公開は許せない

●区民の力で新しい公共づくり

- ・行政・民間・区民の連携をしっかりと
- ・民間活力の手法の検証と改善を
- ・区民活動と行政の協働を
- ・区民の公益活動への支援を
- ・民間と連携し区は区民サービスに責任を
- ・区民活動センターを住民団体の運営に転換 実現予定
- ・区民活動センターの転換は区民と充分に意見交換を
- ・障害者自立支援協議会に当事者参加を 実現



●議員特権はいらない!

- ・議員表彰を辞退
- ・費用弁償(1日3千円)はなくすべき。 区外団体へ寄付

●議員歳費や政務調査費の使い方の公開

佐藤ひろこの収支報告

2010年11月～2011年1月

| | | 11月 | 12月 | 期末手当 | 1月 |
|---|-------|----------|----------|------------|----------|
| 収 | 報 | 588,200 | 588,200 | 1,321,979 | 588,200 |
| | 入 | 費用弁償 | 24,000 | 6,000 | 0 |
| 支 | 税 | 66,510 | -112,078 | 195,664 | 72,840 |
| | 年金・保険 | 182,900 | 182,900 | 99,075 | 182,900 |
| 出 | 活動費 | 54,982 | 63,456 | 0 | 91,616 |
| | 積み立て | 24,000 | 6,000 | 0 | 21,000 |
| 残 | | ¥283,808 | ¥453,922 | ¥1,027,240 | ¥240,844 |

*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべきだ。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回は災害時に障害者などの支援を行う「ゆめ風基金」とフリースクール等に寄付。

「幼保一体化」 どうなるの？ 国の子育て支援

政府は「子ども・子育て新システム」法案を国会に提出する予定だ。子どもに関わる財源の一元化や幼稚園と保育園を「こども園」に一体化することが主な内容。

佐藤 新システムは自治体の課題の把握や意見の聴取が不十分。国が責任を持つべき子ども手当も含めて財源が一元化され自治体の負担も増える。区は意見を出していくべきだ。

区長 国の今後の動向に注目して対応する。

認定こども園の支援を

佐藤 「認定こども園」は親の就労にかかわらず、すべての



子どもに質の高い幼児教育と保育の提供を目的に創設された制度だ。中野区では区立幼稚園2園を私立の認定こども園に転換し、幼保連携型の「やよいこども園」、幼稚園型の「やはたみずのとう幼稚園」がスタートした。

先日この二つの認定こども園を見学。園長さん達は、親が働いているかどうかで区別されるのではなく、地域の子どもたちが一緒に幼児教育と保育を受ける場をつくりたいとパイオニア精神に燃えている。しかし、制度が幼稚園と保育園に分かれたままで財政も厳しい。国や都に制度の改善を働きかけるべきだ。

区長 認定こども園は保護者の多様なニーズに対応でき進みたい。しかし、文部科学省と厚生労働省の壁が非常に複雑な事務を生んでいる。壁を取り除き、事業者が安心して取り組める制度となるよう国や都に要望する。

インクルージョン 教育の推進を

国連で障害者権利条約が採択され「あらゆる教育段階におけるインクルーシブな教育



制度を確保すること」とされた。日本は条約の批准に向けて国内法の整備を目指しているが、インクルーシブな教育と日本の特別支援教育との関係が問題になっている。インクルーシブな教育は、すべての子どもを包み込み、一人ひとりのニーズに応じた援助を行うことを目指している。

大阪府高槻市の学校を視察した。医療的ケアを受けている子どものサポート教室があり重度の障害のある子どもも地域の学校に通っている。特別支援学級が各校に設置されているが、朝の会や図工や音楽など通常学級で日常的に一緒に学んでいる。

佐藤 中野区のインクルーシブな教育に対する考えは？ 桃園小学校の特別支援学級では、移動教室や給食で交流の機会をつくっている。日常的な交流も進めたいとのことだが難しいそうだ。区の特別支

援学級で日常的な共同学習を進めてほしい。

教育長 インクルーシブな教育は子ども達が様々な人と出会い、学び合う機会を持つという点で意義がある。しかし、保護者の理解、支援体制の整備などの課題がある。区では障害のある子ども一人ひとりの教育ニーズを把握し、その子どもの能力や可能性を最大限に伸ばすよう努めている。

佐藤 特別支援学校との交流はどう図っているのか。
教育長 特別支援学校では副籍制度により、地域の小・中学校と運動会などの行事や音楽などの授業に参加するなど、地域とのつながりが保てるようになっている。

医療的ケアを必要とする 障害児・者の支援を

療育センターアポロ園が社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会に委託され、看護師が2名配置され、医療的ケアを必要とする幼児の単

佐藤 中・高生の子どもの緊

急一時保護の実施は検討しているのか。

区長 中学生以上は、現時点ではまだ取り組むことができない。今後の課題だ。

佐藤 医療的ケアについて関係機関と連携した検討会の設置を3年前から要望しているが、検討しているのか。
区長 検討の場はまだつくるのができていない。引き続き関係者と協議をする。

佐藤 看護師、医師などを対象とした医療的ケアの研修会は検討したのか。
区長 現在、国の検討会において研修の実施機関等が検討されている。国の動きなどを見据え実施に向けて検討する。



尼崎市の「NPO地域共生スペースりば」を見学。医療的ケアが必要な人など様々な障害のある人をサポート。ケアハウスもある。

佐藤ひろこの活動日誌から

11月

- 7 町会連合会軽可搬消火ポンプ・バケツ消火操法大会
- 9 ソウル市陽川(ヤンチョン)区歓迎宴(友好都市に)
- 10 車いす利用者と中野駅北口整備計画案チェック
ろっぽ会展覧会鑑賞
- 11 タッチの会で東京入国管理局・在日韓人歴史資料館へ
薬物乱用防止中野区民大会/住民自治をすすめる会
- 12 消費生活展/田月仙りサイト「海峡のエリア」
- 13 メイプルフェスタ(旧あいせい学園祭)
- 14 中野区災害医療救護訓練
- 15 高槻市特別支援教育視察
- 17 尼崎市NPO ぶりば地域共生スペース視察
- 18 厚生委員会/やよいこども園視察
- 19 女性に対する暴力をなくす運動パネル展
アール・プリユット×ばんげあ展覧会
- 22 やはたみずのとう幼稚園視察/補正予算内示
- 24 野村生涯教育センター一般講座
- 26 福島県柳津町の方々と里まち交流
桃花小学校きこえとことばの教室視察
- 27 特別支援学校永福学園祭
地域生活の医療的ケアを考えるフォーラム
- 28 高槻町会高齢者のつどい
- 29 桃園小特別支援学級ひまわり学級授業参観
- 30 臨時区議会

12月

- 1~3 本会議(佐藤ひろこ一般質問)
- 4 保育園ベビーサロンクリスマス会
障害者政策研究全国集会
- 5 宮園保育園クリスマス会にコーラスで出演
- 7 厚生委員会
- 8 日本障害者フォーラム「権利条約の批准に向けて」
厚生委員会で認知症高齢者グループホームなど視察
- 10 中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会
- 13 障害者防災委員会
- 14 本会議/手話講習会
- 16 コミュニティ政策研究会
- 18 おでんくらぶ(重度心身障害児親子の会)
- 21 学習会「発達障害の理解」/佐藤ひろこ区政報告会
- 23 障害者とボランティアの防災交流とシンポジウム
- 24 東中野駅前トーク/後見人制度など調査
- 25 中野ハンディキャップ忘年会
- 26 私たちの望む医療的ケア法制化目前緊急全国集会
- 27 東京朝鮮中高級学校民族管弦楽部定期演奏会

1月

- 4 中野区新年賀詞交歓会
- 8 中野1丁目町会新年懇親会
- 9 オレンジミントもくもくの会
- 10 ももそのデイクラブ/中野区成人のつどい
- 13 京都市医療的ケア研修の調査
- 14 中野区職員労働組合新春旗開き/タッチの会
- 16 中野消防団始式/大震災に備えるフォーラム
- 18 予算原案内示/消費者・環境団体と懇談
- 19 まちなかサロン活動発表会「居場所づくり」
- 20 中野区商店街振興組合連合会新年賀詞交歓会
- 21 中野区消費者団体連絡会「2Rのすすめ」学習会
行政書士会中野支部新年賀詞交歓会
- 22 野村生涯教育センター新年のつどい
在日本大韓国民団東京中野支部新年会
- 23 あとりえふあんとおフェスティバル(旧東中野小)
- 24 中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会
自治体議員政策情報センター地方×国政策研究会

<http://homepage2.nifty.com/usagidayori/>

ホームページの日記から

11/10

今年大きく変わる
中野駅北口の
整備計画案をチェック

4月から7月にかけて北口のバス停が移動する。駅の階段をなくすためにバス停の跡をかさ上げし、改札口から商店街の入口近くまで平らな駅前広場ができる。しかし中野通りとの境目の一部新たに



11/18

おでんくらぶの
クリスマス会

おでんくらぶは医療的ケアが必要な子ども達もいる重度心身障害児の親子の会。3年前からの立ち上げを応援してきた。愛成会のメンバーガーデンのホールをお借りして、お母さん達持ちよりのト

12/19

ハクビシンが中野に

昨日、近所でハクビシンが捕獲された。ハクビシンはタヌキに似ているが顔の真ん中に白い筋があるのが特徴。しっぽが体の大きいくらいに長い。夜行性で電線の上も走ることができ、人家の屋根裏などに住みつき糞尿によるノミ・ダニの被害な



ン汁、風船おじさんやサンタのおじさん達と楽しく遊ぶ子ども達に大人達が元気をもらった一日だった。



あとがき

区議として働かせていただき5期20年。今年はずいぶん、区議の仕事に区切りをつけ、新たな野原で跳びはねてみようと思えます。これから市民の力が重要です。地域福祉を支えるために皆様といっしょに活動してまいります。本年もよろしくお願

福祉トーク

「安心して暮らすための福祉のしくみ」

- 3月9日(水) 午後2~4時 中野勤労福祉会館3階会議室2
- 3月12日(土) 午前10~12時 スマイルなかの3階A・B会議室
- 3月15日(火) 午前10~12時 沼袋地域センター洋室1号

話し手 石坂わたる(行政書士・専門学校講師)
聞き手 佐藤ひろこ